



血管撮影室

日本の医療の特殊性

病院長 福田 修

皆様、いかがお過ごしでしょうか？今回は、日本の医療がいかに特殊かということについて触れてみたいと思います。

日本のCTの保有台数の多さは異常なのかもしれません。何しろ、日本の保有台数は米国の2倍、ヨーロッパの国々を全て合わせた数、全世界のCTのうち4分の1近くが日本にあるとも言われているからです。MRIについても同様の傾向にあります。これらを利用することにより日本の医療水準は世界1位となったわけです。CTは、検査が簡便で病気の早期発見という長所もありますが、被爆する短所もあります。意識がはっきりしていて、元気で機嫌のよい頭部外傷の小児には、CT検査を推奨しないという指針もあり、長所・短所を考えながら検査を決めるというわけです。

また、日本では、生命保険・医療保険・火災保険などの私的保険に年間50兆円もの保険料を払っており、諸外国に比べ異常に高いのです。これは、世界の保険料の半分に相当するようです。日本も年間医療費は36兆円で、これは先進諸外国のなかで最低ですが、医療費が高いとか、医療費削減などが議論されているのは世界の中では特異なことのようです。

私的保険に50兆円払っている国民が、健康保険料の年間10兆円が高いと感じるのは、どこか変ではないでしょうか？老後の不安と健康の不安が日本人の最大の不安であると見て取れるでしょう（愛媛大学石原謙先生）。TPPが解禁になるとこの保険分野に米国が介入してくることは、だれが考えても明らかでしょう。

今後、基幹病院も建設され、魚沼地域の救急医療、高度救命医療はますます充実すると考えられます。齋藤記念病院は、そのことに加わるとともに、引き続き、顔のわかる、何でも話せる、親しみやすい病院をめざしてまいります。

病院理念

*私たちは「患者さんに選ばれる病院」「職員が誇りを持って働ける病院」を目指します。

基本方針

- *私たちは自己研鑽に努め、安全で良質な医療を提供します。
- *私たちはコミュニケーションを大切にし優しく説明・対応します。
- *私たちは救急医療からリハビリテーション機能、在宅医療まで安心できる診療体制を充実させます。
- *私たちは医療機能を整備し経営改善に努めます。

神経内科紹介

神経内科専門医 田村 正人



神経内科は、脳・脊髄・末梢神経・神経筋接合部・骨格筋・自律神経全体を診て、その障害を総合的に診断し、内科的に治療する診療科です。このような神経系の異常による症状には頭痛、めまい、しびれ、ふるえ、物忘れ、けいれん、麻痺、起立・歩行が普通にできない、物が二重に見える、視野が半分欠ける、筋肉の痩せと脱力、意識の異常、失神などがあります。神経内科で診る主な病気は、

下記のように極めて多岐にわたり、また多彩です。

神経内科で診る主な疾患

- ・片頭痛、緊張型頭痛、群発頭痛、後頭神経痛、三叉神経痛
- ・良性発作性頭位性めまい、内耳性めまい
- ・顔面神経麻痺、糖尿病性末梢神経障害、アルコール性末梢神経障害、頸椎症
- ・本態性振戦・甲状腺機能亢進症(ふるえ)
- ・アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症
- ・てんかん、半側顔面けいれん、眼瞼けいれん、痙性斜頸
- ・脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作
- ・パーキンソン病、脊髄小脳変性症、パーキンソン症候群
- ・多発性硬化症、重症筋無力症、ギランバレー症候群、筋萎縮性側索性硬化症
- ・筋ジストロフィー、筋強直性ジストロフィー、多発筋炎、周期性四肢麻痺
- ・髄膜炎、脳炎、脊髄炎、プリオン病
- ・血圧低下や徐脈による失神
- ・癌や内科疾患に伴う神経筋障害
- ・スモン、化学物質・薬剤による神経筋障害
- ・ビタミンや微量元素欠乏による神経筋障害
- ・むずむず脚症候群など

ご家族、知人の方で、気になる症状があれば、ぜひ神経内科を受診されることをお勧めします。

外科的治療を要するときには、脳神経外科、整形外科などに、また、必要に応じて、他の専門内科、ペインクリニック、精神神経科、心療内科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、婦人科などに紹介しています。

消防訓練の実施 (6月19日(木)実施)

当院では年二回、夜間と休日の想定で、消火、通報、避難の各訓練を職員が模擬患者になり実施しており、今回は夜間の想定で行いました。

訓練日の15:10になりますと担当の職員は落ち着かない様子で15:15発報の報知器ベルを待ちます。非常ベルが鳴り、事務当直者が動作を始めます。院内に「火事だ！火事だ！」の音が響き、院内放送が入り、各病棟も避難が開始されます。また、中庭では屋内消火栓を操作して火点の赤旗へ放水訓練を行います。病棟の避難訓練は、看護師が汗だくで担架や布団を使い、模擬患者の職員を屋外へ救出して本部に状況報告します。

避難訓練後に消火器実技訓練があり、消火器操作が初めての新職員は実際に使用して消火を体験します。

日頃から火災予防に努めることは当たり前の事ですが、有事の場合に的確に動けるための消防訓練だと思います。

施設管理係 山崎 和夫





博士号を取得して



脳神経外科 医師 小山新弥
(富山大学 医学博士)

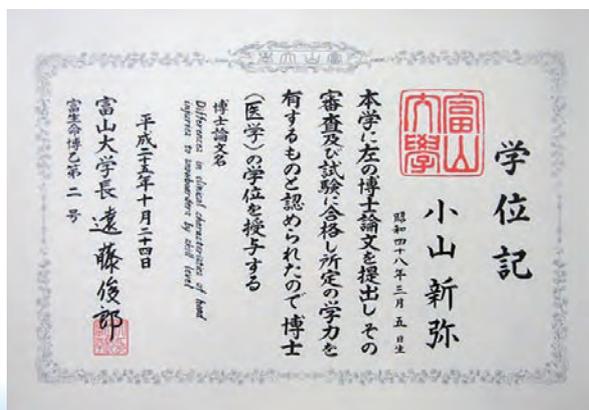
まず、博士号や学位と言ってもわからない人が多いと思いますので、簡単に説明します。「学位」は大学などが授与する称号の一つで「博士」・「修士」・「学士」・「短期大学士」の4つがあります。「学士」は大学を卒業したもの、「修士」は大学院修士課程を修了したもの、「博士」は大学院博士課程を修了したもの（課程博士）あるいは論文の提出によりそれ同等以上の能力を持つもの（論文博士）に授与されます（ウィキペディアより）。医学部の大学院は合計4年間研究を行い論文を執筆します。大学院を卒業しても修了と見なされなければ博士号をもらえないこともあります。今回私が取得したのは論文博士の方で、学位論文を提出し4人の大学教授による厳しい学位審査を受け、無事に合格し博士号を取得した訳です。

論文は ‘Differences in clinical characteristics of head injuries to snowboarders by skill level’ 訳すと ‘技術レベル別に比較検討したスノーボード頭部外傷’ でアメリカのスポーツ誌に掲載されました (Am J Sports Med. 2011; 12: 2656-2661.)。

齋藤記念病院には縁があって今回3回目の赴任で入局してから16年目ですが実に半分の8年間お世話になります。当病院と言えば冬のスキー・スノーボード外傷。一番ピークだった2001年のシーズンはスノーボード外傷のみで434例も受診しています。周囲には約30のスキー場が密集しており、論文を書くのに十分過ぎる条件がそろっていました。

さて、結論を一言で言うと、‘重症頭部外傷である急性硬膜下血腫は初めて・初級者に多い’ というものです (シンプル過ぎました)。これは同じウインタースポーツであるスキーは中級者や上級者に重症頭部外傷が多いのに対し、スノーボードは全く正反対なのです。スノーボードは両足が固定されているという性質上頭部を打ちやすく、また逆エッチ現象という緩斜面で起きやすい現象も特徴的です。初めてや初心者はその特性の知識もなく、転ぶ練習もそこそこにしてレジャー感覚で滑り始めてしまいます。危険なスポーツという認識がないのです。初級者の急性硬膜下血腫を防ぐためには、スノーボードの正しい知識や転び方、脳震盪を起こした時の対応などを学んでから滑走することです。そのためには最初にスノーボードスクールに入ることをお勧めします。

博士号を頂いたからには、未来ある青少年の一生を奪ってしまわないようにアクションを起こしていかないといけないと思う次第です。





齋藤記念病院 外来医師診察予定

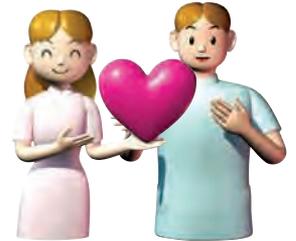
診療科		月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科		福田 修	福田 修	福田 修	小山新弥	福田 修	福田 修	
胸部乳腺外科		鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	鬼頭隆尚	
整形・リウマチ科	1診		藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰	藤原稔泰		完全予約制
	2診	池田三香		池田三香		我田由紀子		完全予約制
神経内科	1診		田村正人					午前・午後診療14:00まで受付
	2診		小穴康功					第3火曜日のみ
	3診						小野寺 理	第2土曜日のみ

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。
 ☆診察日等に変更もございますので、電話にてお問い合わせ下さい。
 ☆胸部乳腺外科、整形・リウマチ科、神経内科は予約制となっております。お電話での予約又は変更等の問い合わせは、月・火・木・金の午後2:00～5:00の間にお問い合わせ下さい。（☎025-773-5111）

齋藤脳神経外科 外来医師診察予定

診療科		月	火	水	木	金	土	備考
脳神経外科		齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	齋藤有庸	第1土曜日 第2土曜日 第4土曜日	さいとう隆景 齋藤有庸 岩本俊彦
消化器外科 肛門外科		廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	廣田正樹	

☆外来受付時間 午前8:30～11:30 ☆午後の診察は行っておりません。
 ☆毎月第3土曜日を休診いたします。
 ☆上記時間以外の救急診察は齋藤記念病院にご連絡下さい。



平成26年度休診日(日曜・祝日以外)

7月19日(土) 8月15日(金・お盆休み) 8月16日(土) 9月20日(土) 10月18日(土)
 11月15日(土) 11月25日(火・開院記念日) 12月20日(土) 12月30日(火)～1月3日(土・年末年始)
 1月17日(土) 2月21日(土) 3月21日(土)

お知らせ

下記日程で献血が行われます。
 病气やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うため、献血にご協力ください。

*日 時 **8月19日(火)**
 14:45～16:00
 *場 所 **齋藤記念病院**

お盆休みのため
8月15日(金)を
 休診とさせて
 いただきます。

神経内科小穴医師の9月の
 診察日が変更になります。

変更前 **9月16日**
 (第3火曜日)

変更後 **9月9日**
 (第2火曜日)

*ご迷惑をおかけ致しますが、おまちがえの無いようご注意ください。



医療法人

齋藤記念病院

齋藤記念病院
 〒949-6602 新潟県南魚沼市欠之上478番地2
 TEL 025-773-5111 FAX 025-773-3024
 病床数:118床/一般病棟70床、療養病棟48床
 診療科目:脳神経外科、胸部外科、乳腺外科
 消化器外科、肛門外科
 整形外科・リウマチ科、神経内科

URL <http://www.saito-memorial.com/>
 E-mail smh@mars.jstar.ne.jp

齋藤脳神経外科(診療所)
 〒949-6603 新潟県南魚沼市川窪1158番地
 TEL 025-772-2350 FAX 025-772-7557
 診療科目:脳神経外科、神経内科、消化器外科
 肛門外科